

# 英 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	英語 501・502 601	A 4 ※ 502のみAB 262	平成31年
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	英語 503 603	A B 292	
11	学校図書	学 図 ◆	英語 504 604	A 4 320	
15	三省堂	三省堂 ◆	英語 505 605	A B 280	
17	教育出版	教 出 ◆	英語 506 606	A B 292	
38	光村図書	光 村 ◆	英語 507 607	A B 324	
61	新興出版社啓林館	啓林館 ◆	英語 508 608	A B 276	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校 種	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校	
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。</li> <li>慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。</li> </ul>	
観点			
内容の取扱い等	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。</li> <li>聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に結び付く身近な内容など、生徒がイメージしやすい題材を取り上げているもの。</li> <li>肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。</li> </ul>
	2 障害への配慮を要する内容等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</li> <li>電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。</li> <li>発音練習等の、音声の違いを的確に表現する活動があり、学習時に配慮が必要となるもの。</li> </ul>
構成上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。</li> <li>学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まひによる注視等の困難を補えるように、各単元の要点を大きな文字や枠囲みで簡潔に示しているもの。</li> <li>通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの。</li> <li>外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。</li> <li>ページをめくる等の動作が少なく、見開きページで学べるようになっているもの。</li> </ul>	

小学部英語(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	東書	開隆堂	学図
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	136	116	115
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	106 最多	35	61
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	151 最多	49	57
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	18	28	21
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	100 最多	48	67
	チャンツ・歌の数	42	58	72 最多
	ゲームの数	20	40 最多	5
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(索引形式)	575	665 最多	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(テーマごとの一覧表形式)	662 最多	0 最少	518
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	33箇所 ①6年「My best Memory」では、小学校の思い出のアルバムを作る活動があり、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P69) ②5年「What do you want to study」では、ニュージーランドでは手話が公用語に指定されていることについての記述がある。(P33)	35箇所 ①6年「Watch the world」では、様々な国の伝統衣装の写真と国旗とを見て、線で結ぶ活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P43) ②5年「I love my town.」では、絵を見て、ジェスチャーを考える活動があり、手話表現と関連付けて学習できる。(P71)	22箇所 ①5年「What sPort do you like?」では、Lessonの最後にある「AlPhabet Corner」で、絵の中に隠されたアルファベットを探す活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P32) ②なし
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	93箇所 ①5年の巻末の資料において、音声を聞いて、アクセントの位置を探す活動があり、学習活動に困難がある。(P94) ②6年「My Future, My Dream」では、中学校で入りたい部活動や将来になりたい職業について、友達にインタビューをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P75)	137箇所 ①5年「パーティーを楽しもう。」では、スイカわりゲームにおいて目隠しをして、音声の指示を聞いて動く活動があり、学習活動に困難がある。(P35) ②6年「I have a dream.」では、将来の夢をテーマにインタビュー・ビンゴをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P62)	164箇所 ①6年「What festival do you want to see?」では、遊園地で複数の人の音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難がある。(P44) ②5年「What would you like?」では、友達同士でレストランの店員と客になって注文のやりとりをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P112)	
障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①5年「Where is the Post office?」では、世界の標識の写真やピクトグラムの例を、見開きで示してある。(P52、53) ②各Unitの会話に関する内容のページには、ポイントとなる文章を枠囲みで示してある。(5年P10など)	①5年「My Hero」では、登場人物の会話のやり取りが、漫画調で構成されている。(P52、53) ②各Lessonの最後に、「ふりかえりをしよう」として、目標項目ごとに達成度を振り返る活動が示してある。(6年P17など)	①各Lessonの扉のページに、学習の進め方を、学習時間の目安とともに、図で示してある。(5年P69など) ②5年「Can you walk on takeuma?」では、Lessonの最後のページに「英文の書き方」として、英文を書く時の決まりが、太枠や文字で示してある。(P94)	
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

小学部英語(聴覚障害特別支援学校)

発行者		三省堂	教出	光村
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	69	49	40 最少
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	18	13 最少	15
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	79	38	28
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	18	14 最少	26
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	13 最少	13 最少	36
	チャンツ・歌の数	29	25 最少	49
	ゲームの数	14	16	38
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(索引形式)	0 最少	0 最少	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(テーマごとの一覧表形式)	513	347	592
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	25箇所 ①5年「I Play soccer on Mondays.」では、スリーヒントクイズを作る活動の中で、ヒントを絵に描いて提示する例が紹介されており、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P74) ②なし	30箇所 ①5年「I can run fast.」では、友達とペアになって、動物になりきってクイズを出し合う活動があり、動きを活用した学習ができる。(P59) ②5年「Let's Look at the World」では、文字と絵でアメリカの手話に関する記述があり、聴覚障害に関わる学習ができる。(P91)	34箇所 ①5年「What time do you get up?」では、様々な表情の動物や人の写真等を見て、どんな気持ちか考える活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P61) ②6年「My Best Memory」では、日本の手話やアメリカの手話、国際手話についての紹介があり、聴覚障害に関わる学習ができる。(P89)
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	112箇所 ①6年「I went to Hawaii.」では、1枚の樹木の写真を見て、関連する内容の音声を聞く活動があり、学習活動に困難が想定される。(P59) ②5年「It is in the box.」では、友達とペアになって、道案内をする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P86、87)	109箇所 ①5年「I have P.E. on Monday.」では、英語とカタカナ語の違いに気を付けて音声を聞いて答える活動があり、学習活動に困難がある。(P42) ②6年「My town is beautiful.」では、友達同士で、自分の町にあるお薦めの場所について尋ね合う活動があり、学習の際に配慮を要する。(P27)	135箇所 ①5年「What would you like?」では、レストランのメニューを読む音声を聞きながら、文字を指で追う活動があり、学習活動に困難がある。(P88) ②6年「He is famous.She is great.」では、友達同士で司会者とゲストを演じ、トークショーをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P67)	
構成上の工夫 障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①6年「世界のまつり」では、各国の祭りについて、写真と文章で説明してある。(P36、37) ②巻末に「〇年生で学習した主な表現」として、各Lessonで取り扱った表現を色付きの枠囲みで示してある。(5年P128など)	①6年「My Summer Vacation」では、日本語と英語の語順の違いを図表で説明してある。(P51) ②各Lessonの最後に、学習の目標に対して、振り返る活動がある。(6年P21など)	①5年「Where is the gym?」では、位置を示す前置詞の使い方について、絵で示してある。(P99) ②各Unitの最初に学習の目標、最後に振り返りができる記述がある。(6年P19、25など)	
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	なし	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	あり	あり

小学部英語(聴覚障害特別支援学校)

発行者		啓林館
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	208 最多
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	38
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	20 最少
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	114 最多
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	45
	チャンツ・歌の数	71
	ゲームの数	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(索引形式)	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(テーマごとの一覧表形式)	552
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	13箇所 ①5年「let's read and write 6」では、写真の中にあるアルファベットを見つけて書き写す活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P71) ②なし
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	112箇所 ①6年「What did you do last weekend?」では、日記を読んでいる音声を聞いて、日付や内容を答える活動があり、学習活動に困難がある。(P58) ②5年「I study math on Monday.」では、友達に好きな教科を聞いて、ランキングの棒グラフを作る活動があり、学習の際に配慮を要する。(P23)	
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①「Chant」のコーナーのリズムに合わせて英文を言う活動では、リズムを意識する単語の上に、赤い点が打っており、リズムを視覚的に理解しやすい。(6年P33など) ②各Unitの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述が枠囲みで示してある。(5年P18など)
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし
	防災や自然災害の扱い	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり

小学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	東書	開隆堂	学図
内容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	136	116	115
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	106 最多	35	61
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	151 最多	49	57
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	18	28	21
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	100 最多	48	67
	チャンツ・歌の数	42	58	72 最多
	ゲームの数	20	40 最多	5
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(索引形式)	575	665 最多	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(テーマごとの一覧表形式)	662 最多	0 最少	518
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。	27箇所 ①6年「This is me!」では、自分の好きな事や誕生日を発表する活動があり、生活に身近な内容である。(P18、19) ②5年「Where is the post office?」では、世界の地図や標識の紹介の中で、車椅子利用者を表すピクトグラムがある。(P53)	35箇所 ①5年「What would you like?」では、ランチメニューを考える活動があり、生活に身近な内容である。(P60) ②6年「世界一を目指すスポーツ選手」では、ボッチャや車椅子バスケットボールの選手の写真有り。(P39)	36箇所 ①5年「What time do you get up on sunday?」では、休日の起床時間や食事の時間を聞いたり答えたりする活動があり、生活に身近な内容である。(P73) ②6年「What festival do you want to see?」では、遊園地の様子を表している絵の中に、車椅子を利用している人の絵がある。(P44、45)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの。	29箇所 ①5年「Welcome to japan」では、音声聞いて、空欄に番号を書く活動があり、学習の際に困難がある。(P46、47) ②6年「学び方みつけた1 会話の場面」では、文末の読み方は上がり調子か、下がり調子かを考える活動があり、学習の際に配慮を要する。(P4)	36箇所 ①6年「We are friends.」では、友達と足し算じゃんけんをする活動があり、学習の際に困難がある。(P5) ②5年「発音クリニック」では、音声聞いて、文末の発音を上げたり下げたりする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P107)	36箇所 ①5年「Where is the beach ball?」では、教科書の地図上で、指示されたとおりに指を動かす活動があり、学習の際に困難がある。(P62) ②なし	
障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視等の困難を補えるように、各単元の要点を大きな文字や枠囲みで簡潔に示しているもの。 ②通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの。 ③外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が少なく、見開きページで学べるようになっているもの。	①各Unitの始まりでは、英語と日本語で単元のテーマを大きな文字で簡潔に示してある。(5年P10など) ②各Unitの会話に関する内容のページには、ポイントとなる文章を枠囲みで示してある。(5年P14など) ③④各Unitの始まりでは、単元に関連する写真や絵を見開きで示してある。(6年P34、35など)	①各Lessonの始まりに、英語と日本語で単元のテーマを大きな文字で簡潔に示してある。(6年P60など) ②各Lessonの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(5年P17など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する写真や絵を見開きで示してある。(5年P18、19など)	①各Lessonの始まりでは、英語で単元のテーマを示してある。(5年P22など) ②各Lessonの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(6年P27など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する絵を見開きページで視覚的に示してある。(6年P68、69など)	
構成上の工夫				
参考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

小学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	三省堂	教出	光村
内容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	69	49	40 最少
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	18	13 最少	15
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	79	38	28
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	18	14 最少	26
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	13 最少	13 最少	36
	チャンツ・歌の数	29	25 最少	49
	ゲームの数	14	16	38
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(索引形式)	0 最少	0 最少	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(テーマごとの一覧表形式)	513	347	592
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。	25箇所 ①6年「I went to Hawaii.」では、夏休みに行った場所と、そこでのことについて伝える活動があり、生活に身近な内容である。(P42、43) ②5年「She is a cook.」では、音声聞いて性別を答える活動の中に、看護師がストレッチャーを押している写真がある。(P48)	23箇所 ①5年「I have P.E. on Monday.」では、夢の時間割りについて考える活動があり、学校生活に身近な内容である。(P34、35) ②6年「Olympics and Paralympics」では、車椅子バスケットボールや車椅子テニスなど、パラリンピックスポーツの写真がある。(P64、65)	52箇所 ①5年「He can run fast. She can do kendama.」では、自分や友達が、できることやできないことについて、聞いたり紹介したりする活動があり、学校生活に身近な内容である。(P63) ②6年「What do you want to watch?」では、様々なスポーツ競技のテレビ中継の紹介の中に、車椅子テニスやシッティングバレーボールなど、複数のパラリンピック競技の写真がある。(6年P38、39)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの。	32箇所 ①6年「My best memory is...」では、紙を切ったり折ったりして、メモリーブックを作る活動があり、学習の際に困難がある。(P74) ②なし	30箇所 ①6年「Let's be friends.」では、音声で聞いたことを、教科書の絵を見て線で結ぶ活動があり、学習の際に困難がある。(P14) ②各Lessonの最後に、文の中で強く読むところや文末の上がり下がりについて、気を付けて読む活動があり、学習の際に配慮を要する。(5年P55など)	23箇所 ①6年「He is famous. She is great.」では、有名人の似顔絵を描いて人当てクイズをする活動があり、学習の際に困難が想定される。(P65) ②なし	
障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視等の困難を補えるように、各単元の要点を大きな文字や枠囲みで簡潔に示しているもの。 ②通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの。 ③外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が少なく、見開きページで学べるようになっているもの。	①各Lessonの始まりでは、英語と日本語で単元のテーマを大きな文字で示してある。(5年P16、17など) ②大きな単元「HOP」の始まりに「Get Ready」として、単元での活動内容や目標を示してある。(5年P15など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(6年P16、17など)	①各Lessonの始まりでは、英語で単元のテーマを大きな文字で示してある。(6年P12など) ②各Lessonの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(5年P23など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(5年P46、47など)	①各Unitの始まりでは、英語で単元のテーマを、日本語で目標を示してある。(5年P20、21など) ②各Unitの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(5年P27など) ③④各Unitの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(5年P62、63など)	
構成上の工夫				
参考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	なし	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	あり	あり

小学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	啓林館
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	208 最多
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	38
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	20 最少
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	114 最多
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	45
	チャンツ・歌の数	71
	ゲームの数	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(索引形式)	0 最少
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(テーマごとの一覧表形式)	552
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。	46箇所 ①6年「I enjoyed school.」では、小学校の思い出について尋ねたり答えたりする活動があり、学校生活に身近な内容である。(P64、65) ②5年「She can sing well.」では、地域の公園や体育館で様々な活動をしている絵の中に、車椅子に乗っている子供の絵がある。(P42)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの。	63箇所 ①6年「I want a big park in our town.」では、自分の住む地域にあるものを一つ言い、教科書に書き込む活動があり、学習の際に困難がある。(P33) ②各Unitの中のPartごとに、リズムに合わせて英語の文章を読む活動があり、学習の際に配慮を要する。(6年P12など)	
障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視等の困難を補えるように、各単元の要点を大きな文字や枠囲みで簡潔に示しているもの。 ②通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの。 ③外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が少なく、見開きページで学べるようになっているもの。	①各Unitの始まりでは、大きな英字で単元のテーマが、日本語で学習目標が、それぞれ示してある。(5年P10、11など) ②各Unitの最後に、学習の振り返りができる記述がある。(5年P18など) ③④各Unitの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(6年P10、11など)	
構成上の工夫		
参考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし
	防災や自然災害の扱い	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり